

久慈学区コミュニティ推進会
発行責任者：石川 善憲
編集：調査広報部
日立市みなと町 3-10
Tel:0294-52-0165 Fax: 53-9144
e-mail c-kuji@net1.jway.ne.jp
https://kuji.hitachi-community.jp/

ふれあいの町

ぬくもりの町

やささの町



敬老の日ミニコンサート

令和 7 年度の「敬老の日ミニコンサート」が久慈交流センターの多目的ホールで行われました。平成の頃は、「久慈サンプリア日立」を会場に敬老の行事を大々的に行っていました。令和元年度の記録を見ると「敬老会」に 621 名が参加とあります。賑やかな発表があったり赤飯やまんじゅうが配られたりすることから多くの人が楽しみにする行事でした。令和 2 年度からはコロナ禍の影響で実施が出来なくなり、また、その代わりに久慈学区は高齢者に町内で使える地域振興券を発行することになりました。コロナが一段落した令和 5 年度から久慈学区では「敬老の日ミニコンサート」として高齢の方に感謝の気持ちを伝える行事を実施しています。現在は敬老会の行事に対する市からの補助金が出ないので、簡素化した運営を行っています。

コミュニティを代表して石川会長から「現在の豊かな暮らしの基を築いた高齢者の皆さんへの感謝」を伝える挨拶がありました。次に久慈小学校児童 2 名の作文発表がありました。しつかりとした発表にうなずきながら聞く観客の姿が見られました。くじ保育園園児の会場いっぱいを駆け回る「荒馬踊り」は観客から大きな声援が送られました。松風中学校 1・2 年生 18 人による吹奏楽演奏では「タッチ」「ふるさと」「青い珊瑚礁」と高齢者にもなじみの曲が演奏されました。観客は間近で聞く演奏に大喜びで、アンコールの「ふるさと」は全員で大きな声で歌いました。

定員 120 名の多目的ホールで実施しましたが、観客の入れ替わりがあり 200 名を超える方々の参加がありました。保育園児の発表があったので高齢者だけでなく小さなお子さんや保護者の方々、吹奏楽を応援にきた中高生と会場にはいろいろな世代の人が集まりました。参加した女性からは「たくさんの方が来ていて楽しかった。演目を増やしてこれからも続けてほしい」との声がありました。

長寿を祝って

九月十三日

久慈学区コミュニティ推進会
ホームページ
久慈二ホ
こ



掲 示 板

☆お問合せ☆
久慈交流センター
TEL 52-0165
FAX 53-9144



お知らせ

問合せは TEL 52-0165

休館日のお知らせ

人口減少や超少子高齢社会の進行、物価高騰等を背景とする市全体の取組の一環として施設の運営体制が見直され、令和 8 年 4 月より久慈交流センターは日曜日が休館となる事が決まりました

第 24 回久慈ふくしまつり

日 時：11 月 8 日(土)10:00～13:00 (雨天決行)
会 場：久慈交流センター全館・駐車場
内 容：コンサート&フラダンス、バルーンアート
模擬店、作品展示、バザーなど
詳細は同時配布したプログラムをご覧ください
問合せ：地域福祉部 TEL54-2488 (火・木・金のみ)

寄せ植え教室 (主催：文化教養部)

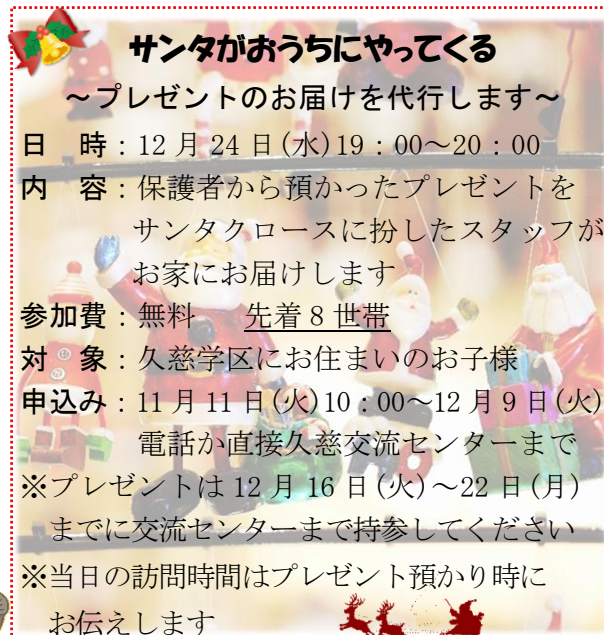
日 時：11 月 19 日(水)10:00～11:00
場 所：久慈交流センター 駐車場
※雨天時は多目的ホールにて開催
講 師：皆川久美子さん
参加費：2,000 円
持ち物：エプロン
申込み：11 月 6 日(木)10:00～ 先着 10 名
QRコードを読み取るか電話・来館にて受付



サンタがうちにやってくる

～プレゼントのお届けを代行します～

日 時：12 月 24 日(水)19:00～20:00
内 容：保護者から預かったプレゼントを
サンタクロースに扮したスタッフが
お家にお届けします
参加費：無料 先着 8 世帯
対 象：久慈学区にお住まいのお子様
申込み：11 月 11 日(火)10:00～12 月 9 日(火)
電話が直接久慈交流センターまで
※プレゼントは 12 月 16 日(火)～22 日(月)
までに交流センターまで持参してください
※当日の訪問時間はプレゼント預かり時に
お伝えします

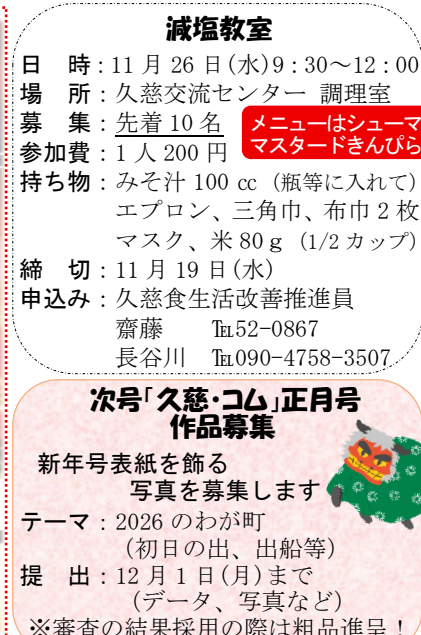


減塩教室

日 時：11 月 26 日(水)9:30～12:00
場 所：久慈交流センター 調理室
募 集：先着 10 名
参加費：1 人 200 円
持ち物：みそ汁 100 cc (瓶等に入れて)
エプロン、三角巾、布巾 2 枚
マスク、米 80 g (1/2 カップ)
締 切：11 月 19 日(水)
申込み：久慈食生活改善推進員
齋藤 TEL52-0867
長谷川 TEL090-4758-3507

次号「久慈・コム」正月号 作品募集

新年号表紙を飾る
写真を募集します
テーマ：2026 のわが町
(初日の出、出船等)
提 出：12 月 1 日(月)まで
(データ、写真など)
※審査の結果採用の際は粗品進呈!



地域福祉部

ふくしの広場



何の動物さんかな？



すごいのびた！



ジャンケンゲーム
勝ったかな？



「工作」はスライム作りです。注意や約束を聞き、長寿会の皆さんの見守りの中、始めました。コップの水に好きな色の絵の具を混ぜてグルグルグル。接着のりを入れてグルグルグル。最後に魔法の薬を注いで大きくゆつくりとよく混ぜて、あら不思議、グニャグニャのスライムできあがり。

最後に全員でじゃんけんゲームを行い、歓声がホールいっぱいに広がりました。

久慈長寿会の皆さんと久慈小学校の子どもたちによるレクリエーションを通しての交流会が開かれました。

「リズム遊び」では音符カードや声かけにより歩いたり、走ったり、手拍子やダンス。自由に身体表現やマーチの曲で元気に行進。二人一組になって向かい合いリズム打ち。

子どもたちはリズムミカルに軽快な動きで元気いっぱい。他の人たちは休みながら部分的に、また手拍子で参加しエールを送っていました。

お楽しみ交流会

七月二十九日



【ガラッキー】 100点にはいれ～！



【ポケットボール】 あ～ざんねん！



【シャッフルゴルフ】 まっすぐいけ～

秋晴れの涼しい風が吹く中、一年ぶりの三サロンが始まりました。まずラジオ体操で体をほぐし、三つのゲームのスタートです。

最初は「シャッフルゴルフ」からです。サイコロ型変形ボールを手で投げ、点数板の中へ入れます。次は「ガラッキー」。ひょうたん型のボール（ダーマ）を投げ、縄で丸く十点、二十点、五十点、百点と点数が大きくなる程、縄は小さくなります。最後は「ポケットボール」です。ゴルフのようにU型の数字に玉をスティックで入れます。

各ゲーム個人ごとに点数をつけて三種目で上位三名にメダル、景品が授与されました。

メダルを頂いた方は大喜びで首に下げていました。最後は替え歌で「我が人生に笑いあり」「ボケない小唄」で締めくくりました。

皆さん思い切り体を動かして、おしゃべりもでき、心身ともに充実した気分でした。



久慈長寿大学懇親会

九月八日



佐々木光儀三絃会



美味しいお弁当に舌鼓！

久慈交流センター多目的ホールにて「久慈長寿大学懇親会」が開催され、参加者の皆さんが音楽と交流を楽しむ、心温まるひとときを過ごしました。

第一部のアトラクションでは、佐々木光儀三絃会の皆さまをお招きし、三味線と歌の演奏が披露されました。力強くも繊細な音色に会場は魅了され、最後の曲では参加者全員が一緒に歌を口ずさみ、会場は拍手と笑顔に包まれました。

続く第二部では、食事を囲みながらの懇談タイム。おいしいお弁当に話も弾み、笑顔の輪が広がりました。

締めくくりには恒例のじゃんけん大会が行われ、勝者には景品が贈られました。なんと参加者全員が景品を持ち帰ることができ「家に帰ってからの楽しみができたわ」といった声も聞かれ、終始和やかな雰囲気の中で会は幕を閉じました。

音楽と交流を通じて心豊かな一日となった今回の懇親会。参加者の皆さんの笑顔が、何よりの成果となりました。

防災授業

九月十九日



石川会長による特別授業

久慈小学校にて4年生を対象に久慈学区コミュニティ推進会石川善憲会長が防災授業を行いました。防災防犯部員9名も参加・傾聴する中、災害時に大切な命を守るために必要なこと『自助・共助・公助』について語り、子どもたちに周りと協力して避難することの重要性を話しました。授業を聞く子どもたちの真剣なまなざしがとても印象的でした。

夜空をみよう

九月二十七日



夕方、急に空模様があやしくなってきた心配されましたが、覗いたレンズの向こうに串刺したおだんごのような土星が見えたり、ずっと隠れていた月齢五日の月が雲の切れ間に見えて歓声があがったり、人工衛星を見つける子がいたり、お父さんお母さんも子どものように夢中になり楽しい時間を過ごすことができました。

毎年来てくださるシビックセンター川崎先生のワクワクするお話。子どもたちが来るだいぶ前から自前の大切な望遠鏡を準備してくださったボランティアの皆様、素敵な夜をありがとうございました。

「来年は何が見えるかなあ」と今から楽しみにしています。

市民歩く会

九月二十八日



風神山山頂にて

南部地区体育研究会主催による「歩く会」。今年度は久慈交流センターを出発し、大甕神社を経由、そして風神山に登る約10kmのコースを歩きました。風神山山頂広場でのお昼休憩時にはハズレなし、全員が景品を持ち帰れるビンゴゲームを行い、大盛り上がり。

参加者16名、総勢27名、怪我なく無事、帰路につくことが出来ました。

歴史講座

十月八日



小松徳年氏をお招きして歴史講座を開催し、40名を超える方々にご参加頂きました。

三回にわたる「水戸藩の貢租」をテーマとした講座の第一回では、財政の基盤となる検地について身振り手振りを交えた講義を聴講し、教科書で学んだ「太閤検地」等が今住んでいる地域でも行われていたことを知り、遙かな歴史が現在に繋がっていることを実感しました。小松氏のユーモアに富みながら学びの多い第二回、第三回の講座が今から楽しみです。